

『医師の働き方改革』の進め方

～いつまでに何を達成すべきなのか！？～

医師の働き方改革。一時期ホットワードとなり、業界全体を巻き込んだ議論が交わされました。議論はある程度落ち着いたかのように見えますが、最終的に私たちはどのようなビジョンを描いたのでしょうか。

いつまでに何を達成すべきで、今何をすべきなのでしょうか。実務で関わっている方以外にご存じない方も実は多いようです。医師の働き方が変わること、業界全体のバランスが変わります。どこにどのように影響が及ぶのか、私たちは今から予測して動いておく必要があるのではないのでしょうか。

今回は横浜市立大学の産婦人科客員研究員で、厚生労働省「医師の働き方の推進に関する検討会」の構成員でもある鈴木幸雄先生にご登壇頂き、「医師の働き方改革」について、これまでの総括と今後の進め方についてご教示いただきます。

なお鈴木先生は現在、米国コロンビア大学メディカルセンターに留学中の為にニューヨークからのご登壇となります。

閉会后、約1時間程度オンライン懇親会も予定しております。

ご都合つく方は是非こちらもご参加ください。

ZOOM
リアルタイム配信

【詳細・お申込はこちら】



<https://bit.ly/3gfAp59>

日時 : 2021年 5月21日 (金) 19:00~21:00

場所 : オンライン (Zoomミーティング)

参加費 : 会員 1,000円 非会員 3,000円

講師紹介

スズキ ユキオ
鈴木 幸雄 先生

コロンビア大学メディカルセンター産婦人科 博士研究員
横浜市立大学医学部 産婦人科 客員研究員
横浜市医療局医療政策課 ヘルスデータ政策フェロー
《略歴》

2008年 旭川医科大学卒業。横浜市立市民病院にて初期研修。

2011年 横浜市立大学付属病院産婦人科。

2012年 札幌・手稲溪仁会病院産婦人科に国内留学。

2018年 横浜市医療局へ出向し医療政策分野に従事

2020年12月- 米国コロンビア大学メディカルセンター産婦人科にて博士研究員として在籍中

